

平成26年11月25日（火）

第11回定例教育委員会会議録

我孫子市教育委員会

1. 招集日時 平成26年11月25日(火)午後2時
2. 招集場所 教育委員会 大会議室
3. 出席委員 委員長 北嶋扶美子 委員 豊島 秀範
委員 長谷川浩子 委員 足立 俊弘
教育長 倉部 俊治
4. 欠席委員 な し
5. 出席事務局職員
教育総務部長 湯下廣一
生涯学習部長 高橋 操
教育総務部次長兼総務課長 小島茂明
生涯学習部次長兼生涯学習センター長兼生涯学習課長 増田建男
文化・スポーツ課長兼白樺文学館長兼杉村楚人冠記念館長 西沢隆治
指導課長 榊原憲樹 鳥の博物館長 斉藤安行
学校教育課長 丸 智彦 図書館長 日暮延浩
教育研究所長 野口恵一 生涯学習課主幹兼公民館長
少年センター長 大島慎一 今井政良
教育研究所副参事 鍵山智子
6. 欠席事務局職員 な し

午後2時00分開会

○北嶋委員長 ただいまから平成26年第11回定例教育委員会を開きます。

会議を始める前に、教育委員並びに事務局職員にお伝えします。我孫子市教育委員会会議規則第18条の規定により、会議で発言する場合は挙手をし、私が指名してから発言をお願いします。また、会議を円滑に進めるため、発言は一問一答をお願いします。

会議録署名委員指名

○北嶋委員長 日程第1、我孫子市教育委員会会議規則第31条の規定により会議録署名委員を指名します。豊島委員をお願いします。

議案第1号

○北嶋委員長 日程第2、議案の審査を行います。

議案第1号、我孫子市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の制定について、事務局から説明をお願いします。

○小島総務課長 それでは、議案第1号になります。

資料の1ページになります。我孫子市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の制定についてでございます。

これにつきましては、前回10月の定例教育委員会で我孫子市いじめ防止対策推進条例並びにいじめ防止対策委員会設置要綱の制定についてということで御可決をいただきまして、条例につきましては12月議会に上程することになっております。それに基づきまして、事務分掌上、一部改正をするものです。

3ページをごらんいただければと思います。改正後、指導課、指導担当の一番最後に2項目を追加するものです。学校教育におけるいじめに関すること、いじめ防止対策委員会に関することということで、従前いじめに関しましては、

生徒指導という項目で読み込みをしておりましたが、今回、条例制定に当たりまして特出しをさせていただいて追加をするものです。

よろしく御審議のほど、お願いいたします。

○北嶋委員長 以上で説明が終わりました。

我孫子市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の制定について、質疑はありますか。——よろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○北嶋委員長 質疑がないものと認めます。質疑を打ち切ります。

○北嶋委員長 議案第1号、我孫子市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の制定について、原案に賛成の委員は挙手願います。

(賛成者挙手)

○北嶋委員長 挙手全員と認めます。よって議案第1号は可決されました。

諸 報 告

○北嶋委員長 日程第3、諸報告を議題とします。事前に配付された事務報告、事務進行予定資料等に補足する説明や追加する事項はありますか。

○榊原指導課長 私からは平成26年度千葉県中学校駅伝大会の結果について御報告申し上げます。資料のほうは、お手元にお配りさせていただきました。

11月16日に柏の葉総合公園で千葉県駅伝大会が開催をされました。我孫子市から県駅伝大会に出場した学校の成績を報告いたします。

男子の部では白山中が大会記録で優勝、湖北中が8位入賞、女子の部では我孫子中学校が5位入賞、白山中が9位という結果でした。白山中は11月30日に東京都八王子市上柚木公園で行われる関東駅伝と12月14日に山口県山口市セミナーパークで行われる全国駅伝に、千葉県代表として出場いたします。

平成5年から全国中学校駅伝大会が始まり、記念すべき第1回大会に千葉県代表として白山中が出場し、全国2位という結果を残しました。ことしの優勝で白山中は21年ぶり2回目の全国駅伝出場となります。また、最近では、我孫子中が平成21年に6位、平成22年に4位と全国駅伝で2年連続入賞しており、ことしの白山中も期待ができます。選手たちは、この時期ですと、風邪や胃腸炎など体調管理がポイントになってきます。また、今後とも委員の皆様方におかれましては応援のほど、よろしく願いいたします。

以上です。

○北嶋委員長 ほかにありませんか。

○榊原指導課長 続きまして、11月22日にとり行われました手賀沼殉難教育者慰霊式について御報告を行います。

当日は午前9時より慰霊碑前で献花を行い、10時より、御来賓に我孫子、柏両市長、倉部教育長をお迎えしまして、また教育委員の皆様方にも御参列いただきまして、計71名の方々の御参列をいただきました。式後、当時4歳であった御遺族の方からお電話をいただきまして、式に参加し、事故の当時の様子を理解でき、また、これほどたくさんの方々に御参列いただいたことを大変感謝しておりますというお電話をいただきました。また当日、教育長からは御挨拶の中で、このような式典については今回で最後にいたしますというような御確認の話もいただきました。

以上で報告を終わります。

○北嶋委員長 ほかにありますか。

○西沢文化・スポーツ課長 私のほうからは、第20回手賀沼エコマラソンについて御報告したいと思います。横長のペラのものを見ていただければと思います。

事務報告の20ページのほうにも記載はさせていただいておりますが、1

0月26日に第20回手賀沼エコマラソンを実施することができました。エコマラソンにつきましては、5月の段階から市民枠のエントリー受け付け、6月には一般の受け付けをしております。これにつきましては、市民枠が約2,000人で3～4時間、一般枠は6,000人という形で対象になったのですが、1～2時間ぐらいで満杯になってしまうような、とても人気のあるハーフマラソンという状況になります。ここにありますように9,214名のエントリーですが、実際に当日会場で受け付けをなさった方が8,209名ということで、約1,000名の方はエントリーだけをしていらっしゃるような状況でした。当日受け付けをしているのですが、体調不良ということで実際に走った方は7,822名という状況になっております。予定が8,000名ですので、予定よりも若干少ない方が走っていらっしゃったというような状況です。当日の天候は左上のほうに書いてあるのですが、曇、気温が17.7度とマラソンをするには絶好の日和で、湿度が67%ということでちょっと高めだったのですが、走るには最高の天気でしたが、スタートして30～40分してからお日様が出てきて、温度が20度ぐらいにぐっと上がりました。その関係で、走っている方につきましては脱水の方が多く見られ、例年、足のけいれんの方はいっぱいいらっしゃるのですが、ことしは足のけいれんとあわせて脱水の方がたくさんいて、去年は実は救急車で病院搬送が1件もなかったのですが、ことしは6人を病院に搬送をしております。一番近い慈恵医大に4名、千葉西に1名、名戸ヶ谷あびこに1名という形で病院のほうに通っている方がいらっしゃいました。これにつきましても、走った後に急に日が出て温度が上がってきて、皆さん、走り始めますとどうしても頑張ってしまう。そういう状況の中で、こういうような状況がちょっと起こってしまったのかなということがあります。皆さん病院は行かれたのですが、ほとんどの方がその日のうちに回復なさってお出になっています。名戸ヶ谷あびこの方が1名だけ、血液の数値が下がらな

いということで1週間弱入院をなさっています。当日は面会できなかったのですが、翌日、事務局のほうで出向きまして、直接お会いして元気なお姿は確認していたのですが、血液のほうの数値が下がらないということで、1週間程度入院をなさっております。完走者7,549人、96.9%についても、例年から比べますと若干少なくなってしまうというのは、その辺が一つ大きな原因かなというように考えております。大きな事故もなく無事に何とか大会は終了できましたので、ここで御報告をしたいと思えます。

○北嶋委員長 ほかにありますか。

○日暮図書館長 私のほうから、上橋菜穂子さんの講演会について御報告します。

来年の1月24日、市民プラザで行う上橋菜穂子さんの講演会の募集を行います。対象は我孫子市民150人、募集期間が12月2日から12月17日、周知の方法として12月1日号の広報及びポスター、チラシ等を配布します。各学校の方にもチラシを、これは5年生以上なので小学校だけに配布したいと思っています。

それから我孫子ニュース、こちらは読売新聞の地域版なのですけれども、それからあびっ子ネット、そういったところに周知の協力をお願いしたいと思っております。

この講演の中で国際アンデルセン賞を受賞したときの賞状とか、メダルとこののですか、それから市民文化・スポーツ栄誉章を贈呈したときの盾などを一緒にお持ちして飾っておくというような形で開催したいと思っております。今回、図書館とあびこ楽校協議会の共催ということになりますので、あびこ楽校協議会のほうでも展示等を行うということで進めております。

以上です。

○北嶋委員長 これは、この期間内に受け付けをして先着順、抽せんですか。

○日暮図書館長 抽選で行います。

○北嶋委員長 抽選ですね。

○日暮図書館長 はい。

チラシ裏のほうに書いてあるのですけれども、申し込みは、はがき、ファクス、Eメール等でできます。チラシ裏に申し込み用紙がついていますので、こちらに記載していただいて、図書館のほうで受け付けをいたします。19日に抽せんをしたいと思っております。年内中に当選者に発送していきたいと思っています。年が明けるとちょっと時間がかかるので、できるだけ年内中に処理したいと思っております。

○北嶋委員長 メールで来た方にはメールでお返事をして、郵送で来た方には郵送でということですね。

○日暮図書館長 回答方法としては、メールで回答するというのではなくて、当選者に入場券を発送します。

○北嶋委員長 全部郵送ですね。

○日暮図書館長 はい。発送をもって当選というような形です。

○北嶋委員長 ありがとうございます。ほかにありますか。

以上で、諸報告が終わりました。これより諸報告に対する質疑の時間とします。

まず初めに事務報告について質疑はありますか。

○豊島委員 今の上橋さんの件ですけれども、楽しみにしているのですが、もちろんこれでもう決まっちゃっているからいいのですけれども、150名というのは思っていたより少なかったのだけれども、これはやはり場所的な問題ですか。

○日暮図書館長 会場は詰めれば180名ぐらい入るということだったので、けれども、展示物とかいろいろな物を配置したりすると、かなり厳しくなっ

しまうのかなど。一応150名を見えていますけれども、当選者の発送については、当日キャンセルも考えられるので多目に発送しようかと考えております。ただ、そこまでぎりぎりにしてしまうと難しいので、一応150名ということで応募者数を決めました。

○豊島委員 場所の大きさの件もありますから無理は言えないのですが、ちょっと僕が思っていたよりは少なかったものですから、率直に申し上げました。若干多目ということで、でもみんなが来ちゃうと入れなくなってしまうと困るので、それは難しいですね。

○高橋生涯学習部長 会場に当たりましては、150名ではなくてもっと広い会場が欲しかったのですが、先生の日程調整の中で、この日だと指定されてしまったのです。受賞してから先生は忙しくて、なかなか本人ともコンタクトができなくて、代理人の方と調整だったのです。同じ日にけやきプラザのほうでも催し物がありまして、それと重なってしまったり、また大学のほうの会場をお借りしようかと思ったら、受験会場として使うので、学校のほうはちょっと使えないということがありまして、本当にやむを得ず、こちらの会場を押さえてやったものです。もうちょっと本当に広い会場であれば、もっと大勢の方に聞いていただければと思ったのですが、やむを得ずこの会場と先生の日程調整でこうなりました。また、余裕があれば違った会場でもできるのかもしれないのですが、もう一回機会があれば、その辺は検討していきたいと思います。

以上です。

○北嶋委員長 この件に関して、ほかに質問はありますか。——よろしいですか。

なければ、ほかの報告事項についてありますか。

○豊島委員 先ほど御説明いただいたエコマラソンのことなのですが、

できれば走れるように努力したいと思うのですが、一般の人が6,000人で市民は2,000人、8,000人ですよね。エントリー数というのが9,000人を超えているのですけれども、こういうものなのですか。

○西沢文化・スポーツ課長 エントリーにつきましては、市民枠は今まで郵送ということで19回まではやらせていただいています。この20回から初めて一般枠と同じような形で、インターネットでの申し込みを受け付けている状況を今回はやらせていただきました。そういう中で市民枠のほうがインターネットが2,000人、郵送が500人、一般のほうはインターネットで6,000人、対象としましては全部で8,500人を予定して、全て多目にとっております。多目にとった数字が9,200人という数字が出ております。これにつきましては、今まで20回の経験則で数値としてはとっているのが現状です。当初のころはなかなか参加していただけなくて、3,000人ぐらいからスタートしていると思うのですが、その3,000人を集めるのに大変苦労したという先輩からのお話も聞いております。そういう中で、ここへ来て相当人気があるので、あっという間に埋まってしまってしまうような状況で、終わってからもお叱りをいただくお電話を結構いただいております。今までずっと経験をしてきた中でのこの数字ですので、大体毎年同じような状況が生まれて来ている現状になります。

○豊島委員 承知いたしました。今そのようなお話をちょっとさせてもらったのは、エントリー数と受け付けはこういうものかなと思うのですけれども、9,000名から8,000名というのは、1,000名が受け付けていないのですよね。何万人も走るのというのだとあれですけれども、ちょっとエントリー数から見たら、この受付数が9,000人から8,000人になる1,000人減というのは、1割減というのはちょっと大きいんじゃないかと思っていて、余り広い会場ではないので、その人数との兼ね合いがあるのかなというのは、

ちょっと思っていたのです。いかがでしょうか。

○西沢文化・スポーツ課長 近年では、千葉市のほうのアクアマラソンなんかも出てきまして、1週間前がアクアマラソンで、向こうはハーフとフルもあるのですが、両方エントリーできた方は選択ができるわけです。1週間後に両方走るといのはなかなか難しい話ですので、そういう部分もあるのかなという考えがあります。私どもの手賀沼エコマラソンは、10月の終わりですと、ちょうどマラソンのスタートの時期で、フルマラソンをやる方でも、ハーフをとりあえず走って、今シーズンの自分の状況を見たいという方も結構いらっしゃいます。そういう方はこの時期に合わせて全国あちらこちら全てエントリーをして、エントリーをできたところから選ぶような状況が生まれてきているということと私どもとして判断はしております。そういう中で、全体で言いますと9割程度の方の参加率になってしまうというふうには考えております。

○豊島委員 わかります。たくさんありますからそれだけでもないし、いろいろなところがありますから、変わります。そういうふうなことがあるということは今了解しましたけれども、それにしてもちょっと1,000人には多いなという気がしております。

この出走率のことなのですけれども、7,800人走って7,540人が完走したというのはすごいなと思うのですけれども、この出走率というのは受け付けに対して95.29%になるということですかね。

○西沢文化・スポーツ課長 そのとおりです。走る方には、チップということで小さい計測器をお渡しして、靴につけていただいております。受け付けはしたのですけれども、記念品だけもらって、きょうは走らないという方がいますので、チップを渡した数が7,822人という形になります。

○豊島委員 ありがとうございます。それはわかっていました。95.29%の出走率に対して、完走率がそれよりも上がっているというのはどういうこと

なのですか。

○西沢文化・スポーツ課長 8, 200人に対して7, 800人が走ったので、それが95%。7, 800人に対して7, 500人の方が完走したので、それが96%と、そういうふうにお読みいただければと思います。

○豊島委員 出走率よりも完走率のほうが高いというのが、あれって今一瞬思ったのですが、問題ないのですね。

○高橋生涯学習部長 1点だけ。これは実行委員会形式で話し合いをしてスタートとゴールは決められたところでやっているのですけれども、そこの中には警察の方も入って協議するのですが、あの今の会場でスタートして一周して帰ってくるというのが、もう8, 000人がマックスだろうというような話があります。ですからエントリー数も自然とこのくらいの数になってしまって、約1割の方が出走できないという過去のデータから基づいて、こういった数字を受け付けています。そのスタートを変えて、もっとストレートのところからスタートすれば、今スタートのところがくねくねと曲がるものですから、非常に狭いと。それを1万人ぐらい走れるようにしたいのだとすれば、直線でスタートラインに立ってもらって一列に並ぶということをする、今度は一周して帰ってくる折り返し地点をもうちょっと変更しないと、ハーフの公認がとれないという地図になってしまうのですね。ですから、その辺を工夫しながら今後も協議は進めていく予定にはなっていますけれども、今のままこの会場を使うと、やはり8, 000人が限界かなというところ。変えれば公認をとって、きちんと計測をするときには、フィッシングセンターのあたりを少し変更するなり何かして、コースを変えていくということが考えられると思います。

以上です。

○北嶋委員長 よろしいですか。

○豊島委員 ありがとうございます。

○北嶋委員長 ほかにありませんか。

○足立委員 千葉県中学校駅伝大会のことでお尋ねしたいというか、参加した中学校はそれぞれ男子も女子も10位以内に入って、特に男子の白山中学校が優勝ということで、大変すばらしいなと思いました。これは参加した中学校の選手だけでなく、参加できなかった中学校の生徒も、自分たちはこんなにレベルの高いところで競い合っていくのだということで、恐らく参加していなかった中学校の生徒たちも大変誇らしい気持ちなんじゃないかなと思います。また、保護者や先生たちだけではなく、直接かかわりのないような市民の一人としても、これは大変すばらしいというか、誇らしい気持ちになるなと思ったのですが、このすばらしい成績をどのような形で広報というか周知を今後なさるのかなと思ひまして、ちょっとお聞きしたいと思いました。

○榊原指導課長 お答えします。

現在、広報につきましては、教育委員会のホームページの中で、教育長からのお話とあわせまして、この成績についてはお知らせしております。非常に頑張つて努力した成果ですので、それも含めましてより広報できるようにこちらでも取り組んでいきたいと思ひますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

以上です。

○北嶋委員長 よろしいですか。

関連ですが、私から。白山中学校が全国大会、また関東大会に行くという報告がありましたけれども、これに関する費用はどのような形で、市から助成が出るのか、学校から出るのか、ちょっとお聞かせ願ひますか。

○榊原指導課長 中学生が県大会以上に代表として参加する大会については、必要な宿泊費、交通費、選手・監督の費用も含めて、市のほうで負担させていただきます。

○北嶋委員長 これに関して、ほかにありませんか。

なければ、その他の事務報告事項についてありませんか。

○長谷川委員 事務報告の5ページ、指導課の15番の項目なのですがけれども、柔道指導者講習会です。現在、中学校での授業の中で武道が必修となっていると思うのですがけれども、武道の中でも柔道は重大なけがを負うこともあり、体育科の先生に講習を受けていただいていると思います。今回の講習会で千葉市おゆみの南中学校の渡邊先生にお越しいただいているようなのですがけれども、こちらの渡邊先生は柔道の専門の先生なのでしょうか。御紹介をいただけたらと思います。

○榊原指導課長 この千葉市の渡邊先生につきましては、もちろん中学校の体育教諭でございますが、文部科学省からの指定を受けまして、国の柔道教育のカリキュラムの開発者、指導者として携わっていらっしゃる方です。今回の講習会についても、体育科の指導者の立場での指導という形で、参加した先生方からは大変好評を得ております。

○長谷川委員 ありがとうございます。

○北嶋委員長 ほかに事務報告についてありませんか。

○豊島委員 同じ指導課の4ページの一番下の7番目なのですがけれども、小学校初任研校外研修のところですか。「授業力アップ実践研修」というところなのですが、内容のところに授業力アップ云々とありまして、授業後の初任者の情報交換とあるのですが、採用数がかなり少なくなっていく中で選ばれてきた人たちなのですがけれども、今のところまだ多いのかな、それでも恐らく採用された人たちというのは懸命に勉強していかないとちょっと受からないということがありますが、そういうふうな意味での勉強はしていると思うのですがけれども、実際に教員として仕事をしていく上で、単なる学力だけではだめなのですよね。そういうふうなところで、情報交換などで新任者に対してのいい点、悪い点といろいろあるでしょうけれども、何かそういうところで話題になるこ

とというのはないのでしょうか。これからますます採用試験に受かるためには、小学校はいろいろ運動も入るのですけれども、学力アップで本当に受験生たちは懸命に勉強をしています。そういう中で入っていくと逆に今度は学力ばかりになってしまうところで、そういうところの情報交換で何か出るようなことがありましたら教えてもらえればと思うのですけれども。

○榊原指導課長 今回は小学校ということで、特に授業後について二本立てで、1つは展開授業についての意見交換です。発問の適正さ、授業の流れの指導者の意図と、そこについてそれぞれの参加者なりの考えを発表したというところと、もう一つは情報交換ということで、やはり学級担任として学級経営上どういった点で悩んでいたりと、重要であるというようなところ、学級経営についての情報交換を中心に行いました。

○豊島委員 ありがとうございます。まだ1年ですから、これからですから、学級経営がうまくいなくて当たり前ということでしょうけれども、そういうふうなことも含めながらですけれども、教員として採用するときの問題なのか、今言おうとしていることは、せっかく受かっても1年目でやめてしまうという子が周りにちょっといたりして、小学校なのですけれども、休みがない。朝からずっと当たりのことなのですけれども、いっぱいいっぱいになるという、1年目の教員に対して、どの程度どういうふうな配慮をするかによっても、その子は生きるか死ぬかということもあるのですけれども、そういうことも含めて、我孫子のほうで何か特に問題がなければいいわけなのですけれども。配慮しなきゃいけないということがあるかなという気がしていましたけれども。

○丸学校教育課長 我孫子市の中では初任が約30名、職種を問わずおるわけなのですけれども、そういった問題はございません。教育長もこの日に来ていただいて、部長、我々も行って、よく話をするのは、やはり相談するということの大切さ、このことについては随分言っています。周りに学年の先生もいるだろ

うし、指導教官もいますので必ず相談してくださいと。私なんかもこれから教員になる人によく言うのは、実践力というのがすごく必要になってくるかなと。要するに指導力とかそういうのは、なってからでも十分勉強すればつくのですけれども、学校現場を見て、今の小学校はどうなんだろうか、中学校はどうなんだろうとか、そういったところに入っていくことよっての実践力を磨いて、教員採用選考を受けるといいねという話はしています。

以上です。

○豊島委員 皆さんには言わずもがなのお話を伺ったのかもしれませんが。そういう点で反省はしておりますけれども、わずかな教員しか採れなくなってくる。だんだん教員数も少なくなってくる。今、教員のバランスも余りよくはない。そういう中で新しく採った教員たちを大事に大事に育てていかなければいけない。そういうときにやはり余りそこでコケさせたくない、そのところが我々が考えなければいけないことの一つだろうと思っているものです。一貫教育がその背景にありますので、そういうことで仕事の量がどんどんふえていくと、1年目からアップアップになってしまっということになると大変だなと思います。30名頑張っているということでもよくわかりました。ありがとうございます。以上です。

○北嶋委員長 ほかにありませんか。

では、私から1つ。5ページの指導課の中ですけれども、14番に学力向上推進委員会連絡協議会の報告事項があります。今年度の全国学力・学習状況調査の結果についての研修協議をなされたそうですけれども、真ん中の学力向上について今年度顕著に伸びた学校の取り組み紹介ということで、これを教育委員会としてお聞きなつたところで、我孫子市の教育員会として、これを活用していきたいというような内容はありましたか。ホームページにも教育委員会から公表して下さっていますけれども、特にここは我孫子で拾っていこうじゃな

いかということがあったらお聞かせ願いたいと思います。

○榎原指導課長 小学校・中学校それぞれ代表的な伸びがあった学校について聞き取りを行いました。その結果、市教委のホームページでも掲げているのですけれども、各学校のこの会を通じてお願いしたことは、まず校長先生を中心として指導方針をしっかりと定めて、そしてそれを徹底させる。継続して、徹底させるということをお願いしました。やはり成果を上げている学校については、例えば家庭学習です。家庭学習を必ず毎日やらせる。例えば中学校で言えば、必ず担当教科の先生が確認をして、できなければ部活にも参加はさせないというところですか。そこまで徹底を必ずさせるというようなことをしております。また小学校でも、6年生で急に始めたのではなく、小学校3年生、低学年のうちから、基本的なプリント学習、基礎基本のところをしっかりと着実に身につけさせて、その成果が今回出たというようなことがわかりましたので、必ず徹底をさせるというところでございます。

そこについては各学校のそれぞれの課題がありますので、A型に課題があるところ、B型に課題があるところがありますので、そこを校長先生を中心として、その課題を解決するための手立てを判断していただいて、決めた以上それを必ず徹底して、1年間、2年間というスパンで実践していただくということをお願いいたしております。

○北嶋委員長 ありがとうございます。子供たちの家庭環境がすごくいろいろですので、家庭学習といっても、おうちの受け取り方によって子供の結果は違うと思います。そこを学校でできる限り、できる範囲で伸ばしていただきたい。自分の育った環境がこうだったからというふうに将来に持っていかないように、公教育でできることは限りがあると思いますけれども、今おっしゃってくださったように、ちょっと先生たちの御苦勞を足してくださると、子供のやったことに目が行って、次もやろうかなという、その子自身に習慣づけるように、大

変ですけれども、お願いできればと思います。ありがとうございます。

それに関してよろしいですか。

○豊島委員 今お答えをいただいた中に、これは公立学校でなければ、成績が悪ければ部活なんか全然させないというのは幾らでもあります。いろいろな学習がきちんとできなければ、すぐに部活に参加させないでちゃんと勉強をさせるということだと思えるのですけれども、すごくいいことだと思えるのですが、今そういうふうな形ででも基礎的な学力をしっかりと身につけるように、教員が生徒に放課後でも指導できるという状況にはあるのですか。今おっしゃった学校は、そのようにして学力を上げていったということですが、現実にもそういうことをすることができる先生の余力はあるのですか。

○榊原指導課長 おっしゃるように、特に中学校は部活の指導というものが大変比重を占めておりますので、なかなか厳しい状況ではあるところですが、その学校については、部活顧問と部活を補助的に担当している教員が、お互いに補完し合って、部活は部活、その補助に回れる教員については、きょうは数学科とか、きょうは英語という形で、まずは学年間で連絡調整をしっかりと、自分のクラスだけの子供を見ているわけではなくて、学年を全員集めて指導しているという体制をつくっておりました。

○豊島委員 それはいいですね。今おっしゃったように、校長先生を中心としてきっちりと組んでいるということはすごい強みだし、教員の一人としても育ててやれるのだというふうなサポートにもなるし、自信にもなると思うのですけれども、そういうふうにしてもらっている学校、してくれている学校、している学校というのは少ないんじゃないですか。中学校16校とか小学校も含めてもいいのですけれども、それはどうなのですか。

○榊原指導課長 今お伝えしたのは一例で、特に顕著なところですが、各学校で非常に先生方は課題意識、やはり学力ということについては非常に高

い課題意識を持っておりますので、本当になかなか業務多忙の中ですが、できる範囲で何ができるかというところを考えて取り組んでいただいておりますので、ごく一部の事例ということではございません。

○豊島委員 ありがとうございます。これから小中一貫教育とかいろいろなことが入っていくので、それぞれのカリキュラムをつくったり、いろいろしなければいけない。そうしたら教員1人1人の仕事が減るということはまず考えられないわけですから、そういうときに学力を高めてあげるというのは、いろいろな意味での基礎だと思うのです。将来に向かっての基礎だと思うのですよ。これから教育に対していろいろ議論していかなきゃいけないのですけれども、教員が学力を教える、授業をちゃんとやるということは、やはり一人ではできないですから。その体制の中でそれをやっていくというのが1校でもふえて、ここだけではないというのは、それはそのとおりだと思います。先生方一生懸命やっているから。だけれども、これは時間と競争ですし、仕事との競争ですから、そのところをやるような状況にバランスで何とかしていきたいなと思いますけれどもね。いろいろな学校が、学力が上がっていく状況になるようにしてあげられたらいいなと祈るような思いですけれども。

○榊原指導課長 おっしゃるように、やはりマンパワーというのは限りがありますので、ただ我々も、小中一貫もそうですけれども、学校教育加算も含めまして、少人数指導も含めて、教師がよりきめ細かく生徒の指導ができるような体制を教育委員会としても現在つくっておりますので、現場の先生方が学力向上に集中できるようにサポートしていくというのが我々の仕事だと感じておりますので、今後とも御指導いただければと思います。

○北嶋委員長 私が申し上げたのは、今そういういい傾向のことを学ばれて、それを各学校がまねをするのではなくて、自分の学校は取り入れられる、自分の地域はこうするというので、その学校のマンパワーとかチームでやってく

ださって、その学校の底上げをしていただきたいということで伺ったものです。ありがとうございます。

ほかにありませんか。

○豊島委員 1つだけお願いします。1ページのところです。細かいところはいろいろお話を伺いましたので、了解いたしました。

一番上のところで、いろいろ学区が変わったりしましたからそういうことだと思うのですけれども、学区境での通学距離や通学の安全に問題はないからということならいいのですが、小学校・中学校にこのような形での移動があります。この方向というのは、今後こういうことになっていくのでしょうか、学区の変化によって。

○丸学校教育課長 今、委員御指摘の学区境、この辺がずっと続いていくのかどうかとか、そういった話かなと思うのですけれども、私も1年半やってみる中で懸案のところもありますので、今年度末、2月から学区審議会がありますので、その中でまた議論をして決定していきたいと思っています。

○豊島委員 結構です。

○北嶋委員長 ほかによろしいでしょうか。

すみません。もう一つ、7ページの少年センターに1つだけ伺います。真ん中の久寺家中区のところですが、根戸小体育館裏周辺はとても暗く、中学生の帰宅路としては心配であるということです。この間、子ども議会でも根戸の森のことは出ていましたよね。小学校はスクールゾーンということで大分皆さんは確認してくださっていますけれども、中学生が通学に使っている道に関して安全性の確認や何かは行われているのでしょうか。

○大島少年センター長 ここの体育館裏の通りですが、久寺家中の生徒が一部通学路として通っているということになっています。私も実際に一緒に歩いてみたのですけれども、確かに電灯はあるのですが、ちょっと数が少なくて暗い

ところがありますので、今後もう少し街灯等をふやしていけるように、こちらからもお願いをしていきたいと思っております。小学生はちなみに通りません。

○北嶋委員長 ありがとうございます。同じところで、上のほうで電灯が切れていた、切れていた、切れていたということがありましたけれども、これは切れていたという報告をして、その後すぐに対処をしていただいた確認はなされているのですよね。

○大島少年センター長 それぞれのパトロール報告ということで上がってきてまして、毎月上がってきたものに関しては、こういった電灯が切れているものは、こちらのほうから各部局のほうにお願いということで要請をしております。確認はまだちょっと全てはとれていません。

○北嶋委員長 切れていて新しくつかないと何もならないので、その辺確認できるようなシステムができるといいかなと思いますので、よろしく願います。

ほかにありませんか。

次に、事務進行予定について何か質疑はありますか。

○豊島委員 文化・スポーツ課、15ページのところです。1番の第34回郷土芸能祭というのが今度行われるわけで、私も参加してみたいなと思っております。これはある意味では小中一貫なんかにもかかわることだと思うのですが、この郷土芸能祭の下の内容のところに、あびこふるさと会、古戸はやし連中、ひよっこ睦、四小・湖北小・布佐小・布佐中とあるのですけれども、これは東のほうというか、向こうのほうが中心なのですね。これは全体にわたるようなものというのはいないのですかね

○西沢文化・スポーツ課長 事前にこれもお配りしていると思うのですが、これを見ていただきますと、「ひよっこ睦」に関しては「ひよっこかい」と読ませていただいております。この3つの団体が地元の学校の子供たちを教え

ているという形で、今現在4つの学校がクラブ活動としてやっていただいていますので、郷土芸能祭のほうにも出演していただいている状況になっております。

○豊島委員 わかりました。いいと思います。これは34回というのはすごい回数ですよ。もう一つ、芸能のないところから出るといったって無理なのであれですけども、申し上げようとしているのは、これで我孫子市の全体の芸能というのは、およそカバーできているのですか。漏れているようなことはないですか。

○西沢文化・スポーツ課長 民俗芸能関係は、私どもが把握しているのはこの3つの会、あとは民俗芸能と言えるかどうか、今回ゲストで湖北台かっぱ太鼓さんというグループが出ていただきますけれども、和太鼓のグループは把握しています。ですが、ちょっと郷土芸能と言えるかどうかは微妙な部分ですので、一応郷土芸能としては、この3つの団体を把握している状況です。

○豊島委員 ありがとうございます。ふるさとのことも小中一貫なんかの教育の一つの柱にあるので、できればそれぞれ自分のところにもあれば、こういうところへ出て行ければいいなと思っています。出るのはいいし、毎年見ているところもありますけれども、ぜひこういうのに漏れないように出してあげられればいいなと思っています。わかりました。

○北嶋委員長 ほかにありませんか。

○長谷川委員 事務進行予定というか事務報告のほうでと言えばいいのか、長寿大学のことなのですけれども、今回の報告書、そして予定を見ますと、内容がスポーツであったり文化活動であったり、事務報告のほうで言えば宿泊研修であったりとか、いろいろな活動をされていると思うのですけれども、学級生の方々も年齢も、退職されたばかりの方から人生経験を積まれた方とか幅広い年齢の方がいると思います。この長寿大学の学校名なのですけれども、このこ

とについて御意見をいただくことはないですか。

○今井公民館長 発足から41年経過してございます。当時から、何年制であるかとか、これが終わった後に大学院的な、また学び続けるような場所の提供というものの御意見はいただきますけれども、事、名称についての御意見というのは特に私のほうでは聞いておりません。

○長谷川委員 ありがとうございます。ほかの市でも同じような名前で長寿大学というのをやっていたらと思うのですけれども、知り合いの方とか、対象の年齢が65歳以上でしたでしょうか。この年齢なのでこういうのがわかりやすいとは思っているのですけれども、反面、「シルバー」とか「長寿」とか「シニア」という言葉に、ちょっと抵抗を感じていらっしゃる方がいたようでしたので、何かあればと思って申し上げてみました。失礼しました。

○北嶋委員長 よろしいですか。

ほかに事務進行予定について質疑はありますか。

教育全般について質疑はありますか。

○豊島委員 「繫 TSUNAGU」を拝見いたしました。34号です。小中一貫の「Abi-English カリキュラムを実践」ということで、布佐小に行って、布佐中の英語の先生が授業をしたということでもあります。これは一貫教育の1つの実践例になるのだと思うのですけれども、1枚目の表裏のところでいろいろあります。布佐のほうでは今こういうふうに行っているわけでもありますけれども、この布佐の取り組みというのは、Abi-English カリキュラムを一方で作くりながら、それを実際に実践しながら来年度に向けて進んでいくということなのではないでしょうか。カリキュラムをつくっていくというのはわかっています。それに対して実際にこういうふうに取り組むをしながらやっていくという、両輪で進めていくということになるのですかね。我々もこれはこういうふうに行ってもらいたいと理解しているということでしょうか。

○榑原指導課長 お答えします。おっしゃるとおりです。車の両輪として考えていただければありがたいと思います。特に布佐中学校の英語の先生が布佐小学校の事例については、今回は乗り入れ授業ということが大きなテーマになっております。中学校の教員が小学校の6年生に対して授業を行い、小学生に中学校での授業の様子や雰囲気を経験してもらうということになります。ちなみにこの取り組みは、昨年度、湖北中学校の英語の教員が湖北小学校で乗り入れ授業という形で行いました。ことしも湖北中区でも、このような乗り入れ授業も行われております。

以上です。

○豊島委員 これは裏と表で、そういうことですね。ありがとうございます。こういうことというのは、これを省けば4校ですけれども、それもやればどうぞというような状況にあると考えていいのですか。

○榑原指導課長 そのとおりです。乗り入れ授業については、学校長判断により、そのようなものができるような状況が整い次第、実践していただくということで進めております。

○豊島委員 ありがとうございます。これは大変でしょうけれども、ぜひやってもらいたいと思います。了解いたしました。

○北嶋委員長 よろしいですか。ほかにありますか。

また私から1つ。先日、ジャパンバードフェスティバル2014がありました。その中で、教育長も御挨拶くださいましたような環境学会というのがアピスタのホールでありました。プログラムを見たところ、小学校の口頭発表が二小の1校のみですよね。口頭発表では、白山中は蟻の研究した彼が発表しました。そのほかには守谷、流山が2校、松戸が3校の発表ありました。高校としては、中央学院高校の生物部の方が発表してくださいました。展示のほうを見ますと、守谷市が7校、松戸市が1校で、こうやって見たときに我孫子が余り

にも少なく、私としては寂しいかなと思うところです。生涯学習として、やはり地域学習として手賀沼をどうするか、先日の慰霊祭のときにも、きれいな手賀沼を守りたいというお話もありました。また、我孫子の先人たちですが、その方々皆さんは我孫子の沼にひかれて我孫子に居を構えられて文学活動をされたと、私は認識しております。我孫子の子ども議会でも、子供から手賀沼のことについてありました。もう少し地域学習の中に手賀沼とか、二小は谷津田のところ古代米でしたけれども、各学校がやっている環境学習の中で、豊島委員から先生が忙しくなってしまうからと叱られてしまうかもしれませんけれども、やはり生物に関心のある子たちを救う1つの道でもあると思いますので、今後もしそういうことが可能であれば、もう少し展示発表の部分でも我孫子の名前が欲しいかなと。各学校の展示を見ますと、特段このためにやったのではなくて、夏休みの学習だったり、多分そういうところが持っていたらと思うので、我孫子はすばらしい作品展もありましたし、こういうところでいろいろな方に見ていただける機会を持つのも子供たちを伸ばせるところではないかなと思います。教育委員会が実行委員会として加わっていますよね。鳥の博物館が入っているのは重々わかりましたけれども、実行委員として教育委員会がどのようなかかわりをしているのかだけ今回質問として伺いたいのですが、いかがでしょうか。

○斉藤鳥の博物館長 ジャパンバードフェスティバルは、学校、産業界、それから財団法人、あるいは行政が一緒になって実行委員会をつくって運営しているという形でやっているのですけれども、教育委員会のほうも、例えば今出てきました環境学会のほうにもかかわっておりまして、そこでいろいろな学校に発表してもらおうということでやっておりますし、今は実際には中央学院の先生たちが中心にやっているという事情もありまして、そういう中で少しずつふやしていければいいのかなと思っております。

ジャパンバードフェスティバルの中でいろいろな出展があるのですが、参加したどこの団体がいい発表していたか、いい活動していたか、そういう出展に対して教育委員会のほうも票を投じてそれを選ぶということをやっております。

そんな形で鳥の博物館も教育委員会の1つとして加わっているわけなのですが、いろいろ地域の子供がもっと参加してもらえるような、そんなような形でかかわりを持っていただけらなと思っております。

以上です。

○倉部教育長 実行委員会として鳥博が答えるには、ちょっと酷な内容だったかと思しますので、委員長の御質問は、ほかの市に比べて我孫子市の学校の取り組みがちょっと少ないのではないかという御質問だと思うのですね。現状の中でそれを調整するのが多分難しかった部分があるかと思しますので、今後教育委員会の中で2つの部を調整しながら、どういう取り組みができるのか、それが拡大できるのか、事務方のほうで調整をとらせていただきたいと思っておりますので、よろしく願います。

○北嶋委員長 よろしく願います。せっかくのチャンスなので。何せジャパンバードフェスティバルですから、日本で1館しかない鳥の博物館を抱え、山階鳥類研究所を抱え、そこでやっている事業ですので、ただのイベントと捉えるか、それを教育的と捉えるかは皆さん認識によるものだと思いますけれども、せっかく我孫子に住む子供たちですので、おっしゃったように何かの形でかかわってもらえたらいいかなということを感じましたので、質問させていただきました。

ほかにありませんか。

○豊島委員 この間、生涯学習部のほうで3館を回らせていただきました。鳥の博物館にも行かせていただきました。ありがとうございました。

そのときにも思ったことがあるのです。他県からぜひ1人でも多く呼んでやろうという気持ちはあるのですけれども、どこに行っても少し落ちついて腰をおろそうかなというような場所がほとんどないのですよね。ですから、はい次、はい次というふうにして、以前に向こうから講師を呼んだときも、1時間かかってずっと歩いてもらったのだけれども、休むところがないから、とにかく歩き通してもらいました。鳥の博物館でも2階のところに、ちょっと席があったり、畳が敷いてあったりするのですけれども、あとの2館もそんなに広くないし、余り若い人ばかりではないですから少し休めるようなところがあったらいいなといつも行くたびに思っているのですけれども、ない袖は振れないのだけれども、そうすると少し落ちつけるのだけだなと思っているのですけれどもね。公民館のほうに休む場所も入っていますので、そんなのは無理でしょうね。そういうふうな休むところが今後できたらいいなと。

○西沢文化・スポーツ課長 御指摘は十分わかります。理解しています。公共施設は水の館もありまして、あそこは無料で使える施設で、その辺を今、市と県で協議してしまして、譲渡を受けるとか受けないという話がありますけれども、今現在も使用するには無料で使えますので、あそこもその中の1つに入れてもらうということと、あと3館でもちょっと話し合いをして、何かそういった場所、開放できるようなところがあるかどうか、ちょっと考えさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

○豊島委員 今、水の館みたいな言葉が聞こえましたけれども、私も何回か行ったことがあります。あそこに何かそういうのができるといいなと思います。少しでも腰をおろせるところがあったらいいなと思います。よろしくお願いします。

○倉部教育長 今の件に、ちょっと補足説明させていただいて、まだ確定ということではございませんけれども、県のほうから水の館の譲渡について、市の

ほうに打診が来ております。一番最初に話があったときには、あれを買えというお話でしたので、それはとてもではないですけれども受ける気はなかったのですけれども、最近、何回も交渉の中で、年数がたってきますと無償でいいからと。それでも市は、維持費がかかりますので、ある程度のいわゆる改修をした上でならばというところまで来ています。それが現実的に我孫子市のものになったときには、いろいろな用途の中にカフェ的なものというものをというような話もありますので、水の館周辺を人が集まる施設に改良できると思っております。そうすると施設の周りに鳥博や何かもありますので、豊島委員がおっしゃるような、ある程度の吸収できるような施設になろうかなと思っておりますので、もうちょっとその辺の様子をごらんいただいて、早くそういうふうになるように市のほうでも努力しておりますので、もう少々お待ちいただければと思います。よろしく申し上げます。

○北嶋委員長 私なんかの団体には市のほうから、水の館の使い方についてアイデアがありませんかと来ているので、多分市民は誰でも出せると思っておりますので、豊島委員何かいいアイデアがあったらどうぞ。そんなことも動いてくださっていますよね。ありがとうございます。

教育全般について質疑はないものと認めます。諸報告に対する質疑を打ち切ります。

○北嶋委員長 これで平成26年第11回定例教育委員会を終了いたします。御苦労さまでした。ありがとうございました

午後3時09分閉会